

“街道テクテク・甲州道中” No.5 (2019-1-20)

参加者：芦田拓也、碓貴臣、大田黒鐵彦、後藤幸子、佐熊範和、高野泰三郎、松下隆、黛政男、三木和幸、矢崎文彦、木村芳一

行程：日野→高尾 10km

日野駅→宝泉寺→西の地藏（日野宿の京口）→日野自動車→コニカミノルタ工場→高倉稲荷神社（高倉新田の鎮守）→日枝神社→東光寺→大和田橋（浅川）→永福稲荷（力士八光山権五郎像）→八幡八雲神社（武蔵7党の一つ横山氏の居館跡であり、八王子総鎮守）→笠間稲荷神社→八王子千人同心屋敷跡記念碑（家康による甲州口の押さえ）→興岳寺（千人同心頭が戊辰戦争時の官軍との不戦の責任で自害）→了法寺（千人同心の墓）→長安寺→山王社（武田信玄の娘・松姫所縁の子育地藏）→高尾駅近くの“目利きの銀次”で反省会

・立ち寄るところは比較的少なく、ひたすら歩いた結果、日本橋からの距離が50kmに達しました。八王子駅を過ぎ、追分町交差点から高尾駅に至る道には銀杏並木が続いており、紅葉時には見事な景観だと思われます。

・浅川をまたぐ大和田橋には1945年8月2日にB29爆撃機によって大量に落とされた数多くの焼夷弾の跡が印されていました（橋全体で50個以上）。旧市街は80%の家屋が焼失し、死者約450名、負傷者約2000名の被害があったとのこと。個人的な話ですが、その18日後に大和田橋から上流1.5km近くの浅川の北側で生まれました。大変な状況にあったことが想像できました。

・八王子の街道沿いには、間口が狭く、奥行きのある専門店が数多くあったのですが、現在ではほとんどなくなり、高層ビル、マンションが林立するようになりました。中心地を過ぎると店の壁や空き店舗のシャッターなどに昔の八王子の街並みを撮った写真が展示されていました。今は無い甲州街道沿いの路面電車、八王子祭りの様子などが映っていました。祭りは現在でも引き継がれ、8月上旬に19台の見事な山車、神輿、獅子舞などが披露される八王子祭りが開催されます。一見の価値はあります。（木村芳一）

